# 山 行 報 告 書

| 報告書作成 | 2014年1月21日 |
|---|---|

| | | | |
|---|---|---|---|
| **山名［山域］** | 御嶽山雪上訓練(第2 班)〔木曽・御嶽山〕 | **目的と方法** | 雪上での歩行、生活技術の習得 |
| **登山期間** | 2013/12/14(土)～15(日)（予備日無） | **山行形態** | 1 泊2 日(テント泊) |
| **参加人数** | 4人 | | |

**行動記録**

12/14(土) 岡崎市集合地(0515) === 岡崎IC(0520) === 恵那峡SA(0615,0635) ===上松町コンビニ(0730,0740) === おんたけ2240PKG(0840,0925) ---チケット売場(0930,0945)<集合> +++ ゴンドラ山頂駅(1000) --- 田の原(1010) ---幕営地TS(1020)<幕営> --- 講習(1230,1600) --- 夕食など(1630) --- 就寝(2100)

12/15(日) TS(0600,0800) --- 弱層テスト(0810,0840) --- TS(0900) --- 九合目避難小屋(1130) --- TS(1300,1430)<撤収> --- ゴンドラ山頂駅(1520) --- PKG(1600,1630) ===ねざめホテル(1730,1830)<入浴>

**概念図**

**日誌**

12/14(土) PKG到着後登山用の装備を整えゴンドラで山頂駅まで移動。少し歩き田の原でテントの設営を行う。場所の選び方、整地の仕方など冬期の設営の仕方を実際に行いながら学ぶ。昼食後は講習に入りテント場から近い斜面でアイゼン歩行、ラッセルなどを行った。膝やピッケルを使ったラッセルも教えてもらえたが深雪の急斜面は雪山の歩行の大変さを短時間で知ることができた。続いてTS周辺でのビーコン操作では雪中に埋められたビーコンを実際に自分のビーコンで探知してゾンデ棒で探し当てるという実際の救助を想定した一連の流れを体験できた。ビーコンの精度があまり確実でないことを踏まえていかに早く要救助者が埋まっている範囲を特定していくかなどのポイントを知ることができ、その後の埋没体験では実際に雪に埋められて助けられることを体験することで雪崩などで雪の中に閉じ込められるのがいかに恐ろしいか少し分かりました。また手で口の周りにエアーポケットを作ることも重要だと感じた。その後個人的に滑落停止の指導をしてもらった。

12/15(日) 朝食などを済ませた後は弱層テストを行った。そして登山開始。冷え込みが強く足先などが冷たく感じる。

天候は悪く日は射さない中を歩く。樹林帯を出た7合目あたりからは吹雪の中の歩行になった。途中からトレースも無くなりラッセルが必要になった。九合目避難小屋に着いた時点で時間の余裕はなくなり視界も悪いため休憩を取ってから引き返す。TS到着後撤収をして山頂駅まで移動するも強風の為ゴンドラが止まっていたのでゲレンデを歩いて下山する。

**感想**

| | |
|---|---|
| **参加者名** | |

改定：2004.08.24